

## 日本の巨大ロボット群像

—巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現—

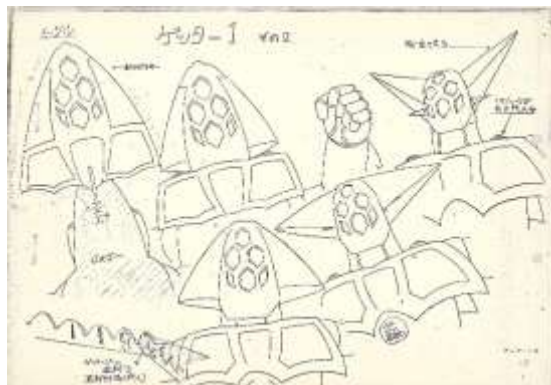
# GIANT 日本の巨大ロボット群像 ROBOTS The Core of Japanese Mecha Anime

- 1 開催趣旨  
『鉄人28号』(1963年)をロボットアニメの嚆矢として、その後『マジンガーZ』(1972年)の大ヒット、新風を吹き込んだ『機動戦士ガンダム』(1979年)の影響下、現在に至るまで多数のロボットアニメが制作され、魅力的なロボットがデザインされてきました。日本独自ともいえる進化と広がりを見せてきたそのデザインの変遷には、空想上の荒唐無稽なロボットという存在に、映像的な「リアリティ」を与えるために、デザインや設定上での創意工夫が凝らされ、多くのファンを魅了し続けてきました。  
本展では、近年までのロボットアニメにおけるデザインと映像表現の歴史を、それらの「リアリティ」形成において重要な役割を果たした設定上の「メカニズム」と「大きさ」を軸に検証していきます。その上で「巨大ロボットとは何か？」を観覧者の皆さんとともに考えていきたいと思っています。
- 2 会 期  
令和6(2024)年2月10日(土)～4月7日(日) 10:00～18:00  
休館日:3月4日(月)、4月1日(月)  
※ 2月18日(日)は無料観覧日
- 3 会 場  
横須賀美術館(神奈川県横須賀市鴨居4-1)
- 4 主 催  
横須賀美術館
- 5 協 力  
AIC、AIC ライツ、エイケン、エディット、KADOKAWA、キングレコード、クロスメディア、KOBE 鉄人 PROJECT、シグナル・エムディ、スタジオぬえ、創通、ダイナミック企画、東映、東映アニメーション、東北新社、トムス・エンタテインメント、博報堂 DY ミュージック & ピクチャーズ、バンダイナムコフィルムワークス、光プロダクション、ビックウエスト、フライングドッグ、Production I.G、メディアウェイブ、ライツ・イン
- 6 企 画  
西日本新聞イベントサービス、ぴあ
- 7 企画協力  
廣田恵介、タルカス(五十嵐浩司)
- 8 観 覧 料  
一般 1,300(1,040)円、高大・65 歳以上 1,100(880)円 中学生以下無料  
\*( )内は 20 名以上の団体料金 \*高校生(市内在住または在学に限る)は無料  
\*身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添の方1名様は無料
- 9 関連事業  
講演会を予定。\*詳細が決定次第、当館ウェブサイトに掲載いたします。

「日本の巨大ロボット群像」展 公式 HP [https://artne.jp/giant\\_robots/](https://artne.jp/giant_robots/)  
公式 X [https://x.com/giant\\_robotsten?s=20](https://x.com/giant_robotsten?s=20)

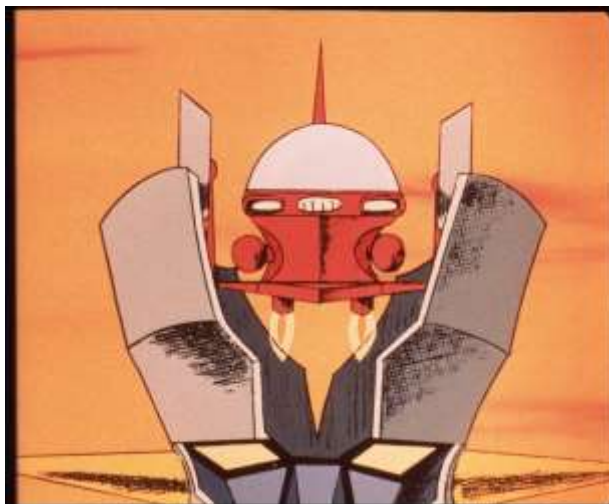
●見どころ 1

巨大ロボットの「メカニズム」に注目！



ゲッター1の変形プロセス『ゲッターロボ』(1974年)

©ダイナミック企画・東映アニメーション



巨大ロボットに人の魂が宿る瞬間『マジンガーZ』(1972年)

©ダイナミック企画・東映アニメーション

主人公のロボットへの「搭乗」、そして「合体」、「変形」は巨大ロボットの、いわば「お約束」。玩具展開を前提としたデザインには工夫が凝らされています。が、そのデザインに隠された「メカニズム」には、それなりの合理性があります。本展では、そうしたメカニズムの魅力を、デザイン画やアニメ劇中の場面などから制作した造作物によってお伝えします。

●見どころ 2

気分はパイロット？ ロボットの「大きさ」を体感できる！



1/1 ダグラムの頭部パネル製作用図面

©サンライズ



ルパン三世に登場するロボット兵・ラムダ

「ルパン三世 PART2」(1977年) 第155話 さらば愛しきルパンよ  
原作:モンキー・パンチ ©TMS

巨大ロボットの「大きさ」は、アニメ劇中にていかに表現されてきたか？1980年代になると、巨大なロボットは実用機械レベルに小さくなり、同時にその表現はリアリティを増します。現実にあるようなそうしたロボットたちの一部分(あるいは全部)を、劇中で設定された通りの大きさに引きのばしたらどう見えるか？アニメの登場人物になった気分でご鑑賞ください！

●見どころ 3  
「内部メカ」にもえる！



ディー・カイゼリン

『ファイブスター物語』(1986年～)／『花の詩女  
ゴティックメード』(2012年) ©EDIT



ライディーンの内部透視図

『勇者ライディーン』(1975年) ©東北新社

架空のロボットが、あたかも本当に存在するかのように、「内部透視図」が描かれてきました。装甲の裏側、そして隙間にのぞくメカは、架空メカの「実体化」への欲望なのか、制作者のフェティシズムか？現在ではプラモデルや玩具でも当たり前のように内部メカが再現されることが多くなったロボットの「内部」に注目します。

●見どころ 4

横須賀出身のメカニックデザイナー・宮武一貴氏による圧巻の巨大絵画 2 点を展示！  
うち 1 点は、横須賀会場で初展示！

宮武一貴氏(スタジオぬえ)が本展のために巨大ロボットをテーマとした巨大絵画2点の制作を横須賀美術館にて行いました。うち1点は横須賀会場で初展示となります。日本のメカニックデザイナーの草分け的存在である宮武氏の描くロボットワールドをご堪能ください！



横須賀美術館での制作風景 ©東北新社



横須賀美術館での制作風景

宮武一貴(みやたけ かづたか)

横須賀市生まれ。SF クリエイター集団「スタジオぬえ」主幹の一人として活躍。『宇宙戦艦ヤマト』、『宇宙海賊キャプテンハーロック』、『超時空要塞マクロス』、『交響詩篇エウレカセブン』などの数多くの映像作品にデザインを提供。日本のみならず世界中のロボットシーンに絶大な影響を与えている。

<要旨用短文>

100 字

本展ではロボットアニメにおけるデザインと映像表現の歴史を、「リアリティ」を生み出す上で重要となる「メカニズム」と「大きさ」を軸に検証します。その上で「巨大ロボットとは何か？」を観覧者とともに考えます。

50 字

「巨大ロボットアニメ」のデザインと歴史を紐解き「巨大ロボットとは何か」を問いかけるかつてない展覧会

20 字

みんなが憧れた巨大ロボットが横須賀に出現



### ○図版の使用等について

このプレスリリース最終ページに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。

「申込書」に必要事項をご記入の上、ファクシミリまたはメールにてお申し込みください。

- ・「申込書」に記載のある画像以外は使用できません。
- ・作品画像は全図で使用してください。
- ・トリミングや文字のせなど、画像の加工・改変はできません。
- ・画像データ使用は、本展覧会の紹介のみとします。
- ・申込書に記載してあるとおりのキャプション表記をお願いします。
- ・WEBに掲載する場合は、解像度 72dpi 以下とし、コピーガード(右クリック不可)を施してください。
- ・再放送、転載など二次使用の場合、別途お申し込みが必要です。
- ・その他、著作権により使用制限がある場合や、ご希望に添えない場合がございます。
- ・原稿は掲載前に必ず当館「広報系」の確認を得てください。  
確認に期日を要するため、予め余裕をもってお送りください。
- ・展覧会場の取材、撮影をご希望の場合、当館「総務系」までご連絡ください。  
来館者の安全な鑑賞環境を優先するため、ご希望に添えない場合もございます。  
また、事前にご連絡のない取材、撮影はお受けできません。
- ・掲載誌(紙)、媒体(DVD など)、URL などを「総務系」あてに1部以上お送りください。

### ○プレゼント用招待券について

読者・視聴者へのプレゼント目的に限り、本展覧会会期中有効のご招待券を 20 枚(10 組 20 名様分)までご提供します。

ご希望の方は、「申込書」に必要事項をご記入のうえ、ファクシミリまたはメールにてお申し込みください。

### ○交通のご案内

#### ■電車をご利用の場合

\*京急線「馬堀海岸」駅もしくはJR「横須賀」駅から  
観音崎行バス「ラビスタ観音崎テラス・横須賀美術館前」

下車徒歩2分

\*京急線「浦賀」駅から観音崎行バス終点「観音崎」

下車徒歩5分

#### ■車をご利用の場合

\*横浜横須賀道路馬堀海岸 I.C. から約 3km(約 5 分)



お問い合わせ 横須賀美術館 〒239-0813 横須賀市鴨居 4-1

○ホームページ <https://www.yokosuka-moa.jp>

Eメール [kouhou@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:kouhou@city.yokosuka.kanagawa.jp)

○取材・画像提供に関すること 総務係:安陪、池田 電話 046-845-1211

○展示内容に関すること 担当学芸員:栗林 電話 046-845-1212

掲載図版／チケットプレゼント申込書

FAX：046-845-1215 横須賀美術館 行き

本展覧会の掲載図版ならびにチケットプレゼント用招待券（ペア 10 組分／20 枚）をご希望の方、下記へご記入の上 FAX にてご請求ください。必要な図版に☒をつけてください。

|                                                                                                       |                                                                                                |                                                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                       |                                                                                                |                                                                                        |
| <div><input type="checkbox"/><br/>① 展覧会タイトルロゴ</div>                                                   | <div><input type="checkbox"/><br/>② 鉄人 28 号 (1963 年 モノクロアニメ)<br/>©光プロダクション・エイケン</div>          | <div><input type="checkbox"/><br/>③ 宇宙の戦士 (1977 年)<br/>加藤直之・宮武一貴 ©スタジオぬえ</div>         |
|                                                                                                       |                                                                                                |                                                                                        |
| <div><input type="checkbox"/><br/>④ メガゾーン 23 PART II 秘密 く・だ・さ・い (1986 年)<br/>荒牧伸志 ©AIC ©AIC ライツ</div> | <div><input type="checkbox"/><br/>⑤ 機動戦艦ナデシコ(1996 年)<br/>©Production I.G／ナデシコ製作委員会・テレビ東京</div> | <div><input type="checkbox"/><br/>⑥ 地球防衛企業ダイ・ガード (1999 年)<br/>©XEBEC・フライングドッグ／創通</div> |

必ずご記入ください⇒ 貴社名 TEL.

貴誌（紙）名 ご担当者様お名前

メールアドレス（画像データ送付先）

ご要望事項（サイズ・解像度など）

チケットプレゼント用招待券 ☐ 希望する ☐ 希望しない

ご住所（チケット送付先）